

公務員試験

一般知識の問題（サンプル）

<社会科学>

我が国の地方自治等に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 議決機関である地方議会と、執行機関である首長は、互いに強い独立性を持つ。首長は議会が可決した条例に対する拒否権を持たず、議会も首長が決定した予算案を議決する権利を有しない。
2. 住民は、条例の制定や首長の解職などの直接請求権を有する。町長など首長の解職については原則として有権者の 3 分の 1 以上の署名が集まると、住民投票に付されることとなる。
3. 地方公共団体の条例において、国の法律よりも厳しい規制を定めるいわゆる「上乗せ条例」を制定することは、我が国では禁止されている。
4. 特定の地方公共団体だけに適用される特別法を国会で制定するには、その地域の住民が国会に請願し、かつ、国会の各議院で総議員の 3 分の 2 以上が賛成することが必要である。
5. 主な地方税としては、住民が納める所得税と企業が納める法人税がある。近年は地方税の不足により財政再生団体となる地方公共団体が増加し、条例により赤字公債を発行している。

<人文科学>

日清戦争から日露戦争までの時期の我が国に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 日清戦争の講和条約として下関条約が結ばれ、我が国は、当時の国家歳入を超える多額の賠償金を得たほか、清から遼東半島や台湾を割譲されることとされた。
2. ロシア、米国、英国は、我が国が清から得た台湾を返還するよう要求した。これは三国干渉と呼ばれ、不満を抱いた民衆は日比谷焼打ち事件を起こした。
3. 大隈重信と福沢諭吉により我が国最初の政党内閣が成立し、普通選挙法と共に治安維持法が制定された。
4. 民間資本により八幡製鉄所が設立され、重工業の急成長を支えたほか、運営を担った岩崎弥太郎や田中正造を中心として財閥が形成された。
5. 日露戦争の講和条約としてポーツマス条約が結ばれ、我が国は、戦費に相当する多額の賠償金を得たほか、ロシアから満州と千島列島を割譲されることとされた。

<自然科学>

ヒトの血液とその働きに関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 体液は、血管を流れる血液、組織の細胞を取り巻く組織液、リンパ管を流れるリンパ液の液体成分から成る。これらは体内で混じり合うことはない。
2. 血液が体を循環する経路として、心臓が動脈血を肺へ送り出す肺循環と心臓が静脈血を全身に送る体循環の二つがある。
3. 血液中の白血球は球形をしており、体の各組織へ必要な栄養分やホルモンを運び、各組織から戻るときは、老廃物や二酸化炭素を運ぶ。
4. 血液中の血小板は腎臓や肝臓で作られ、細菌などの異物を取り込んだり、抗体を作ったりするなど、生体防御の役割を担っている。
5. 血液中の赤血球に含まれるヘモグロビンは、肺で酸素と結合して、酸素ヘモグロビンとなって酸素を体の各組織へ運ぶ。

公務員試験

一般知識の解答

社会科学：2

人文科学：1

自然科学：5